

富士山

2014 年 8 月 3 日～8 月 4 日

Report by 堀

堀は 8 月 20 日から北インドのストック・カンリ(6153m)登山を予定しているので、そのための低酸素トレーニングとしての富士登山を計画しました。

岡部さんが同行してくれました。岡部さんは、以前に富士登山したときには悪天候でご来光を拝めず、剣ヶ峰にも登れなかったのが再挑戦とのこと。

当初は 7 月 31 日～8 月 1 日の予定でしたが、富士山の天候があまり良くないので、8 月 3 日～4 日に延期して実施しました。

堀は富士山 4 回目ですが、過去 3 回はいずれもスバルライン 5 合目から登って、お鉢巡りをしてスバルライン 5 合目に戻ってくるというルートでした。

今回は富士宮口から登って、スバルライン 5 合目に下る計画です。

8 月 3 日(日) 晴

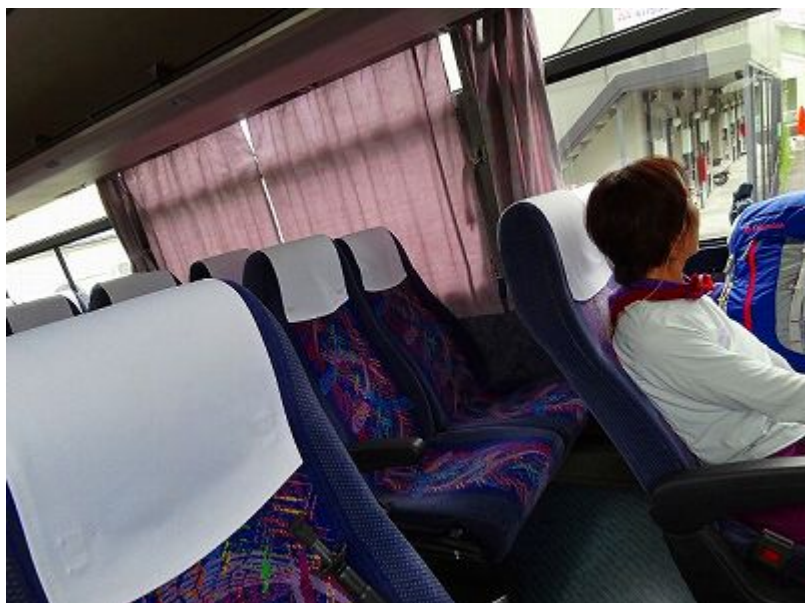


岡部さんは東京駅 11:42 熱海行に乗車。7 号車に乗ったとの mail があり、横浜から堀合流。今回の予定は往復とも全て鈍行。

熱海から島田行に乗り継ぎ、富士駅で身延線に乗換え。



富士宮で下車し、バスのチケット売り場に向かう。歩道橋を登る岡部さんはすごいスピードで、追いつけない。さすがにヨーロッパアルプス帰りは違う。(これはまずいと思った) 富士宮口五合目までバス。バスは片道 2030 円だが、往復割引がある。今回、帰りはスバルライン 5 合目からバスなので、往復割引は使えないが富士登山バス・フリー切符というのがあり、帰りは別ルートでも割引になる。3 日間有効で¥3,100 だいぶお得だ。



14:55 発のバスに乗ると我々2人しか乗客はいない。5合目終点まで1時間半、貸切り状態だった。



16:20 表富士五合目に到着。



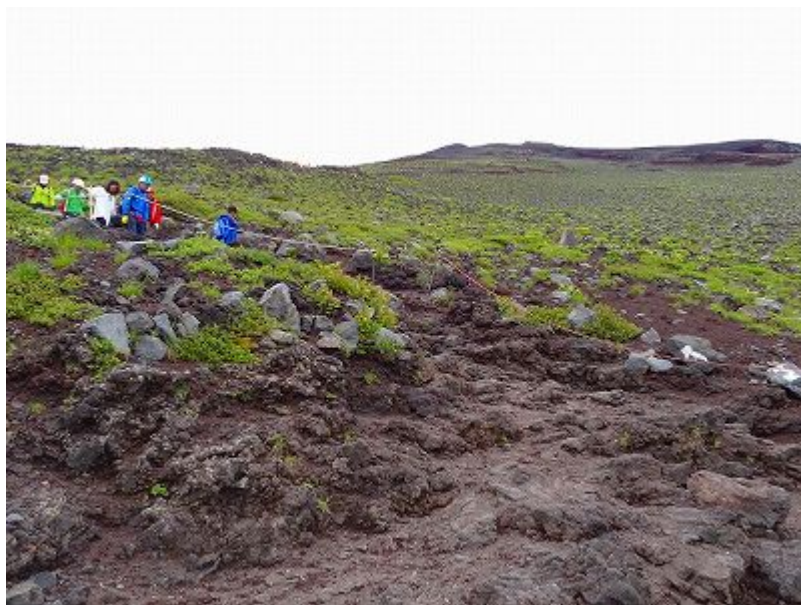
昨日から登って下山してきたという方にシャッターをお願いした。ご来光を見ることができたそうだ。



16:50 いくらも歩かないうちに、六合目の小屋に到着。たった 100mしか登っていないのに五合目から六合目とはどういう計算なのか？



ベンチもあるし、明るいうちにというわけで、ここでお弁当の夕食。「中は暖かいですよ」と小屋のおねえさんが言ってくれるが遠慮する。



17:15 夕食を終え、再スタート。
火山礫の斜面にはイワオウギとオンタデしか見えない。富士山五合目以上の植相は、いたって寂しい。



イワオウギ



オンタデ



相模湾と伊豆大島（中央）、画面右の伊豆半島の先には御蔵島が見える。（右端上部の小さな三角形）



18:10 新七合目到着。予定より 40 分早い。下りてくる登山者には会うが、登っていく人はあまりいない。富士宮ルートは空いているようだ。



ここからは赤茶けた宝永山が見える。



19:10 すっかり日が落ちて暗くなってきたころ元祖七合目に到着。



駿河湾沿岸の街（焼津方面）の明かりが見える。

写真ではわからないが花火大会の豆粒ほどの花火が見える。



ヘッドランプを点け岩場を登っていく。

夜空には星も見えるので、明日のご来光は大丈夫そうだ。（と、この時は考えた）



20:20 八合目池田館に到着。

予約を入れてはあったが、雑魚寝を覚悟していたのに、意外にも一人ずつ布団が敷いてあり、手足を伸ばして寝られた。しかし、床の上にじかに寝ている感触で、床の冷たさが伝わってきて寒かった。

8月4日（月）霧のち晴

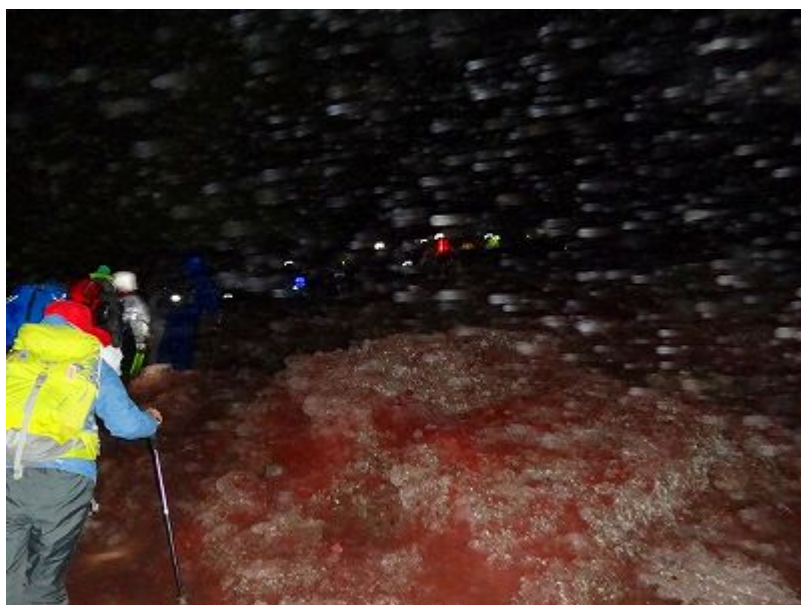


01:30 起床

トイレに出てみると風が強く霧が渦巻いている感じだ。

寒さ対策を兼ねて、レインウェアを着込んで予定より 20 分遅くなったが、八合目小屋を 2:00 出発。

今日はすいていると思ったが、やっぱり富士山である。登山道は、団体グループが幾つもつながって、ツアーリーダーが赤提灯など持って誘導している。



ガスが濃く、レンズに水滴が付くのでこんな写真になってしまう。



メガネにも水滴が付き、ヘッドランプが滲んでしまい、時々ルート外に迷い込みそうになる。

メガネを外した方がましなので、メガネはポケットに仕舞い込む。

40分ほどで九合目に到着。

ツアー客(中国か台湾や韓国らしいツアーも)で溢れている。

ここから先、霧というより霧雨で手袋も濡れ、まつ毛に水滴が付くような状況となる。

ツアー客の中には、山慣れていない人も多いので、先がつかえて数歩歩いては立ち止まる場面が増えてくる。立ち止まっていると結構寒い。

4:20 ようやく浅間大社奥宮のある山頂に到着。

大勢の人が休んでいるが、我々二人はご来光を期待して、東側にお鉢を反時計回りにしばらく進む。

辺りはすっかり明るくなってきた。

東安河原という辺りまで来て東を望むが、霧で何も見えない。風は相変わらず吹いている。



この霧がすぐに晴れるとは思われないので、奥宮方向に戻ることにする。奥宮は人が多すぎるので、途中の風の弱い岩陰で、パンで朝食とする。(5:10)

相変わらずの水滴で、なかなかシャッターが切れない。雨具から水滴がしたたる。

岡部さんはダウンも着込む。



奥宮は工事中。賽銭箱だけあるようで、おみくじを買う気が失せる。



脚が見えない心霊写真か？



5:40 剣ヶ峰に到着。

「日本最高峰富士山剣ヶ峰」とある。

岡部さんは、今回の目的の一つを果たしてやや満足。



久須志神社へ時計回りにお鉢を巡る。

今年は富士山も残雪が多いようだ。



6:20 久須志神社で。これからスバルライン五合目に下山だ。予定時間より 30 分早い。



下り始めると霧も晴れてきて、山中湖が眼下に見える。演習の大砲の音が聞こえる。



長い長い下りを岡部さんは元気に、堀はへろへろで、ようやく 9:45 に到着。9:30 のバスには乗れず、次のバスは 10:30。

レストハウスで岡部さんはアイスコーヒー、堀はビールで一息入れる。

10:30 のバスで河口湖駅着 11:15。



循環バスで河口湖温泉、温泉寺で入浴。

¥1,000



入浴後、河口湖駅に戻って 13:18 の大月行電車を待つ間に、駅隣接の食堂で“冷やし吉田うどん”で昼食。顎が疲れるくらい、ものすごく歯ごたえのある饅頭でした。



富士急の車窓から見る富士は、頂上に雲がかかっているものの夏山の富士山でした。大月から立川行各停で、堀は八王子乗換え、岡部さんは立川経由で帰宅しました。

麓は好天にも拘らず、3000mを超える高山の厳しい一面を見た富士登山でした。それにしても岡部さんは元気だなァ。